

経 済 協 議 会 協 議 事 項

〔 日時 令和4年1月21日(金)
議員全員協議会終了後
場所 第二委員会室 〕

○ 所管事項の報告について

- 1 令和3年八戸市中央卸売市場取扱高実績について
- 2 令和3年八戸市魚市場水揚げ実績について
- 3 八戸圏域地域連携 I Cカード「ハチカ」の販売及びサービス開始
について

令和3年八戸市中央卸売市場取扱高実績について

- ※八戸市中央卸売市場青果部取扱高実績 1ページ
- ※八戸市中央卸売市場花き部取扱高実績 2ページ
- ※令和3年東北各中央卸売市場取扱状況(速報値) 3ページ

八戸市中央卸売市場 青果部 取扱高実績

1. 取扱高 期間：令和3年1月から12月まで（開市日数 254日）
 数量：106,230 t（前年比 99.6%）
 金額：22,239,998 千円（前年比 97.4%）

2. 月別取扱高

上段：数量(t)と前年比 下段：金額(千円)と前年比

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年取扱高
野菜	4,241	6,161	6,983	6,108	6,182	7,665	10,052	7,453	9,032	10,459	10,402	7,425	92,163	92,538
	87.7%	102.5%	97.9%	100.9%	107.1%	97.3%	101.1%	99.0%	109.5%	91.8%	102.0%	98.5%	99.6%	
	1,301,078	1,807,849	1,630,571	1,432,592	1,313,334	1,364,071	1,453,874	1,351,242	1,759,591	1,565,456	1,586,727	1,525,495	18,091,880	18,462,638
	132.6%	161.0%	118.9%	101.3%	102.7%	95.4%	64.2%	78.3%	116.7%	77.5%	90.9%	95.3%	98.0%	
果実	979	1,334	1,165	966	820	761	1,100	1,159	1,002	1,155	1,530	1,678	13,649	13,699
	99.0%	108.9%	115.6%	100.3%	122.2%	109.5%	98.7%	79.6%	99.4%	88.7%	91.6%	105.1%	99.6%	
	226,820	307,909	334,110	271,127	262,965	276,908	386,622	381,013	277,381	290,906	427,914	500,398	3,944,073	4,167,344
	83.1%	93.4%	100.7%	77.3%	93.1%	96.0%	92.5%	80.9%	89.6%	94.5%	111.7%	118.6%	94.6%	
その他 (野菜・果実加工品、鳥卵、その他)	38	41	44	27	51	25	27	24	21	38	37	45	418	458
	100.5%	101.9%	101.5%	74.7%	109.2%	78.6%	91.6%	87.4%	82.1%	114.6%	81.8%	74.4%	91.3%	
	17,842	21,584	22,654	11,523	19,773	10,548	13,185	13,671	11,440	14,338	17,446	30,041	204,045	206,775
	92.6%	89.8%	102.5%	99.7%	123.4%	93.1%	109.3%	115.1%	98.4%	92.2%	96.2%	90.5%	98.7%	
合計	5,258	7,536	8,192	7,101	7,053	8,451	11,179	8,636	10,055	11,652	11,969	9,148	106,230	106,695
	89.7%	103.5%	100.1%	100.7%	108.7%	98.2%	100.8%	95.8%	108.3%	91.6%	100.4%	99.5%	99.6%	
	1,545,740	2,137,342	1,987,335	1,715,242	1,596,072	1,651,527	1,853,681	1,745,926	2,048,412	1,870,700	2,032,087	2,055,934	22,239,998	22,836,757
	121.4%	144.8%	115.2%	96.6%	101.2%	95.5%	68.8%	79.0%	112.0%	79.9%	94.6%	100.0%	97.4%	

3. 入荷及び価格の状況

〔野菜〕 1月は、断続的な強い寒波の影響から、全国的に低温と干ばつ傾向が続いたため生育が緩慢となり、野菜全体の入荷量としては昨年を下回った。このため、馬鈴薯や長いも、にんにくは引き合いが強くなり、高値が続いた。2月は、強い寒気の影響が一部であったものの、全国的に平年より気温が高い傾向となったことから、人参は前進出荷で荷動き良く、価格も安定した。また、ごぼうやにんにく・ねぎは依然引き合い強く、高値が続いた。3月になると、全国的な気温の上昇と適度な降雨のため、白菜・キャベツなどの葉茎菜類を中心に生育順調な品目が多くなり潤沢な入荷が続いたことから、入荷量増に伴う安値で推移した。一方、ごぼうやにんにく・馬鈴薯は前月に引き続き引き合い強く、高値が続いた。4月も3月と同様に、生育順調で潤沢な入荷が続いたことから、野菜全体として「数量増の安値」となった一方で、ごぼうとにんにくを中心とする県産特産品は相変わらず引き合いが強く「数量少の高値」となり、二極化傾向がより顕著となった。5月は、気候が良く、多くの品目で生育順調となったことから潤沢な入荷と前進傾向となり、軟調な相場が展開された。6月は、平年よりやや遅い梅雨入りとなったものの、日照時間は多く、平均気温も上がってきたことから生育が順調に進み、根菜類や果菜類では数量・単価とも前年並みとなった。前進傾向であったトマトは、6月下旬には品薄となったため高値が続いた。7月は、猛暑とコロナ禍に加え、東京五輪の無観客開催などの影響から、業務・加工分野の荷動きの鈍化は著しく、非常に厳しい販売となった。しかし、このような状況にあっても県内産のにんにくは依然引き合いが強く、昨年よりも1～2割程度の単価高で取引がなされた。8月上旬は好天が続き、全国各産地とも入荷順調で安値基調が続いたが、中旬から下旬にかけて、寒気の影響から日照不足や低温が続くなど環境が一変し、きゅうり・なす・トマトなどの果菜類、レタスなどの洋菜類、ほうれん草などの葉物を中心に入荷量が減少したことで相場が高騰した。にんにくは、中国産の輸入減と新型コロナウイルスへの免疫効果の期待から、依然として引き合いは強く、本年中、高値が続いた。11月、県産ごぼうは、3L・2Lの大中物の入荷で加工用の引き合いが弱い。長いもは、土付きの入荷が始まったが、下等級品の比率が高く平年より単価安であった。野菜全体としては、11月の平均単価は153円となり、過去5年間で最も安い値、厳しい月となった。

〔果実〕 1月は、りんごの入荷が始まったものの、供給過剰のため前年比の3割程度の単価安でスタートした。いちご・バナナ・輸入果実の入荷量は例年並みであったが、コロナ禍のためイベントの中止が相次ぎ、低調な荷動きとなった。2月から3月にかけては、りんごの安値が続いた一方、みかんは外気温が低かったこともあり荷動きが良く、堅調な販売となった。いちごは端境の影響により県内外産ともに入荷量が少ないため活発な荷動きがみられ、バナナも気温上昇に伴い、荷動きが徐々によくなっていった。4月は、いちごの旬を迎え入荷量は増えてきたものの、思いの外、価格は伸び悩み、国産果実全体としてもそれほどの荷動きはみられなかった。6月は県内産さくらんぼの旬であるが、霜害の影響から昨年より1割程度少ない入荷量となり、高値で取引された。千葉県産の主力であるすいかも徐々に始まったが、まだまだ外気温に左右される荷動きであった。7月になると、国産果実は全国各産地とも前進出荷となった結果、出荷ピークが需要期から外れてしまい、全体的に厳しい荷動き、単価となったが、8月になると、前月からの前進出荷が需要期と合致し、数量減の高値が続いた。9月、バナナは、国産果実の潤沢な出回りにより、例年に比べ厳しい販売を強いられた。11月、いちごは温暖の影響で前進出荷となり、入荷量が多く安値での取引が続いた。一方、県産りんごは、入荷量は前年の2割減となり、贈答用の引き合いが強いものの、上物が少なく強保合。みかんは、前年並みの入荷量であったが消費末端の動きが鈍かった。しかし、果実全体としては、11月の平均単価は280円となり、過去5年間で最も高い値となった。

八戸市中央卸売市場 花き部 取扱高実績

1. 取扱高
 期 間 : 令和3年1月 から 12月まで (開市日数 253日)
 数 量 : 12,374 千本 (前年比 101.5%)
 金 額 : 1,102,877 千円 (前年比 106.2%)

2. 月別取扱高

上段:数量(千本・千鉢・千個)と前年比 下段:金額(千円)と前年比

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	前年取扱高
切 花	571	717	1,572	833	872	752	802	1,359	1,092	669	746	1,251	11,236	11,106
	85.3%	94.6%	104.1%	112.3%	113.6%	93.4%	92.3%	100.4%	103.4%	96.8%	105.2%	106.5%	101.2%	
	43,382	52,125	136,699	63,088	63,910	60,838	62,096	118,745	97,162	60,876	70,798	119,068	948,787	906,194
鉢 物	7	9	13	18	12	10	8	3	5	10	9	8	112	115
	89.9%	89.6%	107.4%	126.7%	86.5%	105.6%	139.1%	132.1%	68.0%	76.8%	93.2%	82.4%	97.4%	
	2,986	3,987	6,388	9,750	7,067	5,194	5,183	2,409	3,147	4,968	6,164	5,833	63,076	53,557
その他 (枝物、観葉植物、 苗物、植木、加工 品、その他)	28	110	77	137	171	113	43	29	39	57	65	157	1,026	972
	90.2%	91.1%	121.5%	122.2%	110.3%	99.6%	84.0%	112.0%	79.0%	98.1%	144.5%	106.7%	105.6%	
	2,118	5,182	5,531	15,845	14,287	9,941	4,793	2,872	4,053	5,927	5,776	14,689	91,014	79,109
合 計	606	836	1,662	988	1,055	875	853	1,391	1,136	736	820	1,416	12,374	12,193
	85.6%	94.1%	104.8%	113.8%	112.7%	94.3%	92.2%	100.6%	102.1%	96.6%	107.2%	106.4%	101.5%	
	48,486	61,294	148,618	88,683	85,264	75,973	72,072	124,026	104,362	71,771	82,738	139,590	1,102,877	1,038,860
	70.7%	85.6%	121.5%	146.1%	120.1%	105.7%	91.2%	103.8%	101.0%	93.2%	113.5%	115.3%	106.2%	

3. 入荷及び価格の状況

〔切 花〕 1月は、青果同様、断続的な強い寒波の影響から全国的な供給量は少なかったが、需要も低かったため安値で推移した。バレンタインや桃の節句などの時期になると、イベント用の花の需要が伸び、昨春動きがみられなかった分より活気が感じられ、コロナ禍以降初めて引き合いの強い時期となった。この状況は全国的なもので、特に関東を中心に品薄、高値傾向となり、出荷産地が東北に移行する初夏までは続く予想された。4月は、コロナ禍の影響で例年に比べ入荷量は少なく、また、中旬以降には輸入品の入荷も減少したため、中値、高値が続いた。5月、切花は、コロナ禍での様々な制限の影響を受け動きは鈍かった。一方、カーネーションは、昨年5月が「母の月」とされたこともあり需要が高まり、初旬こそ手頃な価格で取引されたものの、中旬以降はコロンビア産の入荷量減を国内産で供給したこともあり高値が続いた。6月から7月中旬にかけては、切花全体として入荷量は少なく、また、例年に比べ業務需要が少なかったことで、中値、高値が続き、価格は安定はしていた。しかし、7月下旬になると好天が続く、開花が早まったため、荷動きは良くなったが、安値での取引が多くなった。8月は、東北で生産された切花を中心に平年並みの販売実績となったが、コロナ禍の影響から荷動きが良いとは言えない状況であった。9月は好天が続いたため、市近郊から菊類・トルコキキョウ・リンドウ・アスターなどが多彩に入荷され、秋彼岸需要もあり荷動き、単価は良かったが、彼岸以降は落ち着き、やや安値基調が続いた。10月になると、コロナ禍の影響にも落ち着きが見え始めてきた。切花は、国内の主産地が南へ移行したこと、また、長期にわたる需要の減、燃料費の高騰が重なり、流通量は少なかった。一輪菊は、葬儀需要が少なく、まだまだ動きが鈍い状況であり、スプレー菊は、徐々に動きは出てきたが価格は伸び悩んだ。カーネーションは、栃木県産の今期出荷が始まり、引き合い強く、やや高値での取引が続いた。11月、切花は、全国的に流通本数はまだまだ回復しておらず品薄気味であったため、やや高値の取引であった。スプレー菊は、コロナ禍の影響から輸入品が減り入荷量が不安定となったため、国産品が高値で取引された。カーネーションは、前月同様、栃木県産が多く入荷され、引き合い良く、やや高値で取引された。

〔鉢 物〕 1月は、切花同様、断続的な強い寒波の影響から荷動きが鈍く、全体的に安値は続いた。2月になると、胡蝶蘭の引き合いが強くなり、取扱数量・金額ともに安定した取引が続いた。3月は、平年並みの荷動きとなり、特に鉢物では、入荷量・単価ともに安定した取引が続いた。4月は「コロナ禍の巣ごもり需要」、5月は「母の月需要」のため需要が高まり、鉢物全体の荷動きも良く高値が続いた。6月から7月にかけて、胡蝶蘭の入荷量と需要のバランスが安定しており、単価も平均並みでの推移としたが、8月は、胡蝶蘭の動きはあったものの、気候の影響を受け、品質は安定しなかった。しかし、9月になると徐々に回復し始め、中大輪の胡蝶蘭が数量・価格ともに順調に推移した。10月、鉢物では、選挙用やイベント用として胡蝶蘭の引き合いが良かった。その他、シクラメンやポインセチアの出荷も始まったが、引き合いはまだ強くはなかった。11月は、シクラメンやシンビジュームの取引が多くなった。また、暖冬の影響でポインセチアや葉牡丹の生育が進み、出荷のピークを迎えた。

令和3年東北各中央卸売市場取扱状況（※速報値を含む）

【青果部】

数量					
令和3年 順位	市場名	令和3年 (トン)	令和2年 (トン)	前年比 (%)	令和2年 順位
1	仙台市	147,054	158,007	93.1	1
2	八戸市	106,230	106,695	99.6	2
3	青森市	61,075	61,110	99.9	3
4	盛岡市	58,640	60,396	97.1	4
5	いわき市	48,903	51,335	95.3	5
(参考)	秋田市	39,976	42,854	93.3	6

金額（税込み）					
令和3年 順位	市場名	令和3年 (千円)	令和2年 (千円)	前年比 (%)	令和2年 順位
1	仙台市	36,729,726	39,140,163	93.8	1
2	八戸市	22,239,998	22,836,757	97.4	2
3	いわき市	14,697,675	15,240,615	96.4	3
4	盛岡市	14,005,720	14,759,575	94.9	4
5	青森市	11,715,037	12,147,298	96.4	5
(参考)	秋田市	10,887,577	11,570,806	94.1	6

【花き部】

数量					
令和3年 順位	市場名	令和3年 (千本等)	令和2年 (千本等)	前年比 (%)	令和2年 順位
1	仙台市	100,037	99,282	100.8	1
2	秋田市	27,211	27,114	100.4	2
3	八戸市	12,374	12,193	101.5	3
(参考)	青森市	9,492	9,965	95.3	4
	いわき市	7,693	7,760	99.1	5

金額（税込み）					
令和3年 順位	市場名	令和3年 (千円)	令和2年 (千円)	前年比 (%)	令和2年 順位
1	仙台市	8,266,704	7,829,108	105.6	1
2	秋田市	1,940,032	1,834,661	105.7	2
3	八戸市	1,102,877	1,038,860	106.2	3
(参考)	青森市	773,534	769,265	100.6	4
	いわき市	584,450	563,329	103.7	5

- ・数値（基準日は12月末現在）は、八戸市が東北管内の各中央卸売市場に対し行った調査で得たもの。
- ・数量はトン未満、金額（税込み）は千円未満を四捨五入し集計したもの。
- ・速報値は、今後、変動する可能性があること。
- ・秋田市の青果部、及び青森市、いわき市の花き部は、地方卸売市場に転換したが、参考として掲載するもの。

令和3年八戸市魚市場水揚げ実績について

※八戸市魚市場水揚げ実績 1 ページ

※令和3年全国主要市場水揚げ表 2 ページ

八戸市魚市場水揚げ実績（令和3年1月1日～12月31日）

令和4年1月21日現在

- 開場日数は、280日（前年 280日）
- 水揚げ数量は、44,472トン（前年比73%、16,698トン減）
- 水揚げ金額は、8,677,811千円（前年比65%、4,612,118千円減）

漁業別	区分	数量（トン）					金額（千円）					単価（10kg当）（円）			
		令和3年 (A)	構成比 (%)	令和2年 (B)	比較		令和3年 (a)	構成比 (%)	令和2年 (b)	比較		令和3年 (α)	令和2年 (β)	比較	
					A-B	A/B*100 (%)				a-b	a/b*100 (%)			α-β	α/β*100 (%)
いかつり	近海	254	1	1,026	△ 772	25	220,275	3	707,875	△ 487,600	31	8,672	6,899	1,773	126
	船凍スルメイカ	2,353	5	1,584	769	149	1,636,241	19	1,382,500	253,741	118	6,954	8,728	△ 1,774	80
	船凍アカイカ	3,324	7	6,528	△ 3,204	51	1,556,474	18	2,399,047	△ 842,573	65	4,683	3,675	1,008	127
	その他	0	0	6	△ 6	0	46	0	5,027	△ 4,981	0	0	8,378	-	-
	計	5,931	13	9,144	△ 3,213	65	3,413,036	40	4,494,449	△ 1,081,413	76	5,755	4,915	840	117
大中型旋網	三陸	16,058	36	25,445	△ 9,387	63	1,122,404	13	3,542,137	△ 2,419,733	32	699	1,392	△ 693	50
	遠海	10,985	25	13,920	△ 2,935	79	453,792	5	649,499	△ 195,707	70	413	467	△ 54	88
	船凍	0	0	0	0	-	127	0	84	43	151	0	0	-	-
	計	27,043	61	39,365	△ 12,322	69	1,576,323	18	4,191,720	△ 2,615,397	38	583	1,065	△ 482	55
機船底びき網	大型	887	2	1,607	△ 720	55	475,133	5	529,805	△ 54,672	90	5,357	3,297	2,060	162
	中型	6,478	15	6,925	△ 447	94	2,047,993	24	2,562,679	△ 514,686	80	3,161	3,701	△ 540	85
	小型	204	0	114	90	179	60,978	1	36,301	24,677	168	2,989	3,184	△ 195	94
	計	7,569	17	8,646	△ 1,077	88	2,584,104	30	3,128,785	△ 544,681	83	3,414	3,619	△ 205	94
その他		3,929	9	4,015	△ 86	98	1,104,348	12	1,474,975	△ 370,627	75	2,811	3,674	△ 863	77
水揚げ総数		44,472	100	61,170	△ 16,698	73	8,677,811	100	13,289,929	△ 4,612,118	65	1,951	2,173	△ 222	90

令和3年全国主要市場水揚表

令和4年1月21日現在

水揚数量					水揚金額				
順位 (昨年)	市場名	(都道府県名)	数量 (昨年)	対前年比	順位 (昨年)	市場名	(都道府県名)	金額 (昨年)	対前年比
1 (1)	銚子	(千葉県)	280,413 (271,840)	103.2	1 (1)	焼津	(静岡県)	41,332,460 (38,254,739)	108.0
2 (2)	釧路	(北海道)	204,499 (191,635)	106.7	2 (2)	福岡	(福岡県)	37,771,812 (35,517,591)	106.3
3 (3)	焼津	(静岡県)	151,062 (153,521)	98.4	3 (3)	長崎	(長崎県)	28,663,956 (28,726,381)	99.8
4 (6)	長崎	(長崎県)	100,222 (92,983)	107.8	4 (4)	銚子	(千葉県)	27,303,006 (27,326,763)	99.9
5 (4)	石巻	(宮城県)	98,399 (101,332)	97.1	5 (5)	三崎	(神奈川県)	19,653,008 (19,241,757)	102.1
6 (5)	境港	(鳥取県)	93,829 (98,289)	95.5	6 (7)	気仙沼	(宮城県)	18,263,282 (17,256,823)	105.8
7 (9)	気仙沼	(宮城県)	75,199 (70,887)	106.1	7 (6)	境港	(鳥取県)	17,765,838 (18,207,511)	97.6
8 (7)	枕崎	(鹿児島県)	68,476 (80,405)	85.2	8 (13)	稚内	(北海道)	16,660,003 (11,824,073)	140.9
9 (8)	稚内	(北海道)	66,209 (76,184)	86.9	9 (8)	石巻	(宮城県)	16,260,933 (15,728,089)	103.4
10 (12)	松浦	(長崎県)	59,489 (49,764)	119.5	10 (9)	根室	(北海道)	15,707,744 (14,428,804)	108.9
11 (11)	福岡	(福岡県)	59,014 (57,615)	102.4	11 (12)	枕崎	(鹿児島県)	11,651,668 (12,667,701)	92.0
12 (10)	八戸		44,472 (61,170)	72.7	12 (11)	下関	(山口県)	11,270,507 (13,116,921)	85.9
13 (13)	根室	(北海道)	44,005 (44,684)	98.5	13 (14)	松浦	(長崎県)	9,480,554 (8,653,403)	109.6
14 (14)	女川	(宮城県)	41,685 (42,967)	97.0	14 (16)	釧路	(北海道)	8,860,949 (8,227,253)	107.7
15 (17)	唐津	(佐賀県)	22,965 (19,477)	117.9	15 (10)	八戸		8,677,811 (13,289,929)	65.3

数量:トン 対前年比:%

金額:千円 対前年比:%

※ 当データは八戸市が22市場(25団体)に対して調査を実施したもの
 下関の令和3年の値は11月末までのもの
 数量はトン未満、金額は千円未満を四捨五入で集計
 (金額について、根室、焼津は税抜き、その他は税込み)

八戸圏域地域連携 I Cカード「ハチカ」の販売及びサービス開始について

八戸圏域では、八戸圏域の全バス路線【(市営バス、南部バス)※十和田観光電鉄は除く】に地域連携 I Cカード「ハチカ」を導入いたします。

「ハチカ」の販売及びサービス開始が決定いたしましたので、お知らせいたします。

1 「ハチカ」の販売及びサービス開始

- ・販売及びサービス開始：令和4年2月26日(土)
- ・販売場所：はっち、ラピア等、市営バス及び南部バスの各定期券販売所
- ・販売金額：1,000円(デポジット料金500円+チャージ料金500円)
※ I Cカードの早期普及を図るため、令和4年3月31日までに記名式カードを購入される方、先着30,000名様を対象に、バス運賃の支払いに利用できる500円分の交通ポイントをプレゼントいたします。

2 記念セレモニー

- ・日時：令和4年2月26日(土)10時～
- ・場所：八戸まちなか広場「マチニワ」

3 回数券等の販売終了

項目	販売期間	使用期限
各種回数券 ・普通回数券 ・通学回数券 ・セット回数券 ・お買い物回数券	令和4年2月25日まで	令和5年3月31日まで
・まちパス ・みんなで1Dayパス (市内版・圏域版) ・キャンパス4 ・1日乗車券 ・交通部80周年記念乗車券		令和4年2月25日まで

4 広報等

2月上旬より、バス車内やバス事業者営業所等でポスターを掲示するほか、広報はちのへや市公共交通ポータルサイト等で実施。